



▲内水対策の解析や特定外来種の駆除などの事業を進める円山川



▲ウェルストーク豊岡を拠点にスマートウェルネス豊岡の推進

平成22年度の 主な事業

総合計画に定める多くの施策の実現のために、行政改革などによって生み出した限りある貴重な財源を防災・福祉・環境・商工・観光・教育など各分野にわたり、その礎を構築します。

なお、22年度に計画している事業・施策のうち、新規事業を中心に紹介します。

※文末(年度)…完成予定年度

安全に安心して暮らせるまち

□円山川沿線内水対策の解析 1,500万円

円山川沿線で新たな内水が生じる箇所の調査分析を行い、今後の内水対策を検討します。

□民間住宅耐震改修の促進 1,066万円

簡易耐震診断の無料化と住宅耐震改修工事に対する助成制度を設けます。

□市民への防災情報の発信 60万円

F Mジャングルから定期的に防災情報の放送を実施するほか、防災ひとくちメモの冊子を作成します。

□消費者行政の推進 229万円

但馬3市2町で「たじま消費者ホットライン」を設置するほか、相談窓口の強化や相談員のレベルアップを図ります。

□スマートウェルネス豊岡の推進 34万円

ウェルネス(健康、安心)を健康政策の中核に置き、市民が気軽に生活習慣病の予防などに参加できるまちづくりを推進します。

□自殺予防対策 36万円

自殺者ゼロを目指す連絡会を設置するほか、心の健康づくり講演会の開催や心のケア相談を行います。

□ユニバーサル社会づくり実践モデル地区事業プランの策定 46万円

総合健康ゾーンと豊岡駅周辺地区を中心としたモデル地区内で、ユニバーサル社会を提案する事業プランを策定します。

□こども医療費の助成 184万円

小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、入院時の医療費を一部助成します。

□第2次霊園の整備 2億1,220万円

第2次霊園(霊園、公園、市道)の整備のほか、上水敷設の詳細設計や埋蔵文化財調査を行います。(23年度)

□無料職業相談・紹介所の設置 276万円

高齢者職業相談室の廃止に伴い、対象者を拡大し、無料職業紹介所を開設し、職業紹介を行います。

□広域ごみ・汚泥処理施設の整備 2億138万円

北但行政事務組合が実施する広域ごみ・汚泥処理施設建設の用地買収・水源調査などに対する豊岡市の負担と、関係区の地域振興計画関連事業を実施します。

人と自然が共生するまち

□自然生態系保全への取組み 30万円

ラムサール条約への湿地登録を目指す円山川下流域で、特定外来種のブラックバス・ブルーギルを対象に駆除活動を実施します。

□コウノトリ未来・国際かいぎの開催 617万円

県と共催で、第4回コウノトリ未来・国際かいぎを開催し、豊岡から国内外へ成果を発信します。

□国際生物多様性年関連事業 437万円

2010年は、国連が定める「国際生物多様性年」で、国際会議への参加や生物多様性に関するイベントを市内外で開催し、豊岡の取組みを発信します。

□バイオマスタウンの推進 3億3,712万円

木質チップ・ペレット製造施設を整備するほか、小中学校や公共施設へのペレットストーブの設置や、温浴施設にペレットボイラーを整備します。

持続可能な「力」を高めるまち

□エコハウスの普及啓発(経済成長戦略プロジェクト) 101万円

ハチゴロウの戸島湿地内に整備したエコハウス(環境共生型住宅)を拠点に、市民や事業者を対象に勉強会や講座を開催し、普及啓発を行います。

□中心市街地活性化事業(経済成長戦略プロジェクト) 255万円

J R豊岡駅を中心とした中心市街地を活性化するため、活性化基本計画策定委員会を設置し、住民説明会などを開催し、活性化計画を策定します。

□企業誘致の推進(経済成長戦略プロジェクト) 3,516万円

企業誘致課を設置し、新規企業立地情報収集や既



▲子ども手当の支給や子育てセンターの整備(出石子育てセンター)



▲山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟を目指す



▲国際生物多様性年にコウノトリ未来・国際かいぎの開催(前回の様子)



▲新庁舎建設の実施設設計を行い、仮庁舎へ移転(現市役所本庁舎)



▲J R豊岡駅舎の移転と駅前広場の整備



▲経済成長戦略プロジェクトの実施(豊岡市企業ガイドブック)

存企業の設備投資動向の把握などに取り組みむほか、三方東部工業団地を造成し、企業誘致を図ります。

□山陰海岸ジオパークの推進 1,259万円
山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟に向けて、市民の関心を高めるため、看板やパンフレットを作成するほか、ジオツアーを実施します。

□有害鳥獣防除実証業務 160万円
鳥獣による農作物被害防止のため、竹を利用した防除施設(竹マルチ)の効果検証を行います。

□J R豊岡駅前広場の整備 5億9,098万円
J R豊岡駅周辺の交通結節点機能の向上を図るため、駅前広場を整備することとし、用地買収やJ R豊岡駅舎移転補償、地盤改良工事などを行います。(23年度)

□景観計画の策定 910万円
周囲の自然と調和したまちなみを継承し、良好な景観形成を図るため、豊岡市景観計画を策定します。(23年度)

□地域情報化推進事業 1億4,280万円
ブロードバンド基盤(光ファイバー)の幹線整備のほか、地上テレビ放送のデジタル化を促進するため、テレビ共聴施設の改修費用の一部を助成します。

未来を拓く人を育むまち

□認定こども園導入に向けた整備 4,000万円
但東地域における認定こども園の導入に向け、合橋・高橋・資母の施設の環境整備を行います。

□子育てセンターの整備 1,915万円
城崎と出石の子育てセンターをそれぞれ城崎と出石の総合支所内に移転し、整備します。

□子ども手当の支給 14億595万円
中学校修了前までの子どもを対象に、子ども1人につき月額1万3千円を支給します。

人生を楽しむお互いを支え合うまち

□小規模集落活性化事業、元回集落サミットの開催 104万円
小規模集落の活性化に向けて、2集落をモデルに

指定し、アドバイザー派遣や活動助成を行うほか、元回(元気回復)集落サミットを開催します。

□(仮称)いのちへの共感に満ちたまちづくり条例の制定 14万円
水害で失われた命、東井義雄「いのちの教育」の広がり、コウノトリの野生復帰など、豊岡が積み重ねてきた経験により得た理念を「(仮称)いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」として制定します。

□図書ネットワークの整備 4,873万円
図書館出石分館を出石総合支所に移転し、図書ネットワークを整備します。

□地区公民館の整備 2億4,814万円
県が進める県民交流広場事業を取り入れ、竹野・八条・新田・国府・日高の各地区公民館を改修し、また、小野地区公民館の実施設設計を行います。

□豊岡市民グラウンド第4種公認陸上競技場更新事業 2,002万円
公認陸上競技場としての公認期間満了に伴い豊岡市民グラウンドを、第4種公認陸上競技場として更新するための改修工事などを行います。

□住民総参加型チャレンジデー2010の開催 23万円
5月最終水曜日に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の参加率を自治体間で競う「住民総参加型チャレンジデー2010」を開催します。

基本計画の実現に向けて

□コストを意識した行動指針の策定 15万円
第2次行政改革大綱に基づき、コストを意識した行動指針を策定します。

□民間借入金の繰上償還 5億7,828万円
市債管理基金を活用し、将来の公債費負担の軽減を図るため、民間からの借入金の繰上償還を行います。(23年度)

□新庁舎の整備 3億6,698万円
新庁舎建設の実施設設計を実施するとともに、仮庁舎への移転を実施します。(24年度)

□コストを意識した行動指針の策定 15万円
第2次行政改革大綱に基づき、コストを意識した行動指針を策定します。

□民間借入金の繰上償還 5億7,828万円
市債管理基金を活用し、将来の公債費負担の軽減を図るため、民間からの借入金の繰上償還を行います。(23年度)

□新庁舎の整備 3億6,698万円
新庁舎建設の実施設設計を実施するとともに、仮庁舎への移転を実施します。(24年度)

指定し、アドバイザー派遣や活動助成を行うほか、元回(元気回復)集落サミットを開催します。

□(仮称)いのちへの共感に満ちたまちづくり条例の制定 14万円
水害で失われた命、東井義雄「いのちの教育」の広がり、コウノトリの野生復帰など、豊岡が積み重ねてきた経験により得た理念を「(仮称)いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」として制定します。

□図書ネットワークの整備 4,873万円
図書館出石分館を出石総合支所に移転し、図書ネットワークを整備します。

□地区公民館の整備 2億4,814万円
県が進める県民交流広場事業を取り入れ、竹野・八条・新田・国府・日高の各地区公民館を改修し、また、小野地区公民館の実施設設計を行います。

□豊岡市民グラウンド第4種公認陸上競技場更新事業 2,002万円
公認陸上競技場としての公認期間満了に伴い豊岡市民グラウンドを、第4種公認陸上競技場として更新するための改修工事などを行います。

□住民総参加型チャレンジデー2010の開催 23万円
5月最終水曜日に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の参加率を自治体間で競う「住民総参加型チャレンジデー2010」を開催します。